

8時間働けば ふつうに 暮らせる社会へ!

8時間労働制は、世界の労働者の長いたたかひの成果です。8時間働いて、8時間寝て、8時間は自分のために使う…8時間働けばふつうに暮らせる社会を実現するために、日本共産党は次の立法提案をおこなっています。



- 残業は月45時間、年360時間に
- 「サービス残業」は、残業代を2倍にします
- 勤務から勤務の間に11時間の休息時間を
- パワハラを防止します

「働き方改革」

過労死ふやす法案は 廃案に!

日本共産党

今国会で
成立不要

69%

政府は、今国会に、働き方法案(8本の法律を一括改定)を提出しています。労働時間規制を完全になくしてしまう「高度プロフェッショナル制度」(「残業代ゼロ」制度)を導入し、過労死水準の残業を合法化するなど、「働かせ方」大改悪法案です。「今国会で成立不要」との声が69%にもものぼっています(東京新聞)。すべての労働団体と「全国過労死を考える家族の会」などの広範な市民団体も強く反対。日本共産党は、野党と協力して、廃案をめざして全力をあげます。

政府は

データをねつ造し、ウソの説明くり返す

労働時間データ

「裁量労働の労働時間は一般労働者よりも短い」(政府)

ウソがわかり
データを撤回

「残業時間年1000時間超の事業所は3.9%」(政府)

実際は48.5%

高プロ制度

「高プロを希望する方がいるのは事実」(政府)

聞きとった労働者は
わずか12人

「違法はしっかり是正指導する」(政府)

野村不動産で
過労自殺を防げず